



本館棟改築外事業は、昨年3月に着工し、本年10月完成しますが、あわせて、医療情報システムを導入いたします。また、救急告示病院や災害拠点病院など地域センター病院としての機能を維持、充実させるとともに、将来の総合病院の姿を描く「病院づくり構想」の具現化に向け、取り組みを進めてまいります。熊石国保病院につきましては、オーダーリングシステムを導入してまいります。

### (2) 高齢者福祉の充実

本町の高齢化率は、29.5%と急速に進行しており、保健・医療・福祉に対するニーズは益々高まっており、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して生活ができるよう地域社会全体で支えあい、関係機関と連携を図りながら高齢者の生きがいづくりや社会参加を推進してまいります。

本年度は、平成29年度までの『高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画』の初年度となります。高齢者が住み慣れた地域で生活が継続できるよう関係機関・団体とともに計画の着実な推進に努めてまいります。

高齢者虐待の早期発見と適切な対応に努めるとともに、成年後見制度等の普及啓発により高齢者や障がい者が自らの権利を守り、尊厳ある自立した生活を送ることができるよう支援してまいります。

認知症になっても地域で安心して暮らせるよう「町民みな認知症サポーター」を目標とし養成講座を開催するとともに、介護者支援のため『介護マーク』の配布に取り組んでまいります。

### (3) 子育て支援の推進

本年度から新たな子育て支援制度がスタートすることから、5か年の子ども・子育て支援事業計画に基づき子育て支援事業を展開してまいります。

子育て支援センターでは、新たに「一時預かり事業」を開始するとともに、子育てに関する相談や地域に向いた活動、また、子育てサークルの育成や子育て親子の交流促進などを通して子育て支援の充実に向けてまいります。

子ども発達支援センターは、子育て支援センターから引き継いだ療育事業を推進し、発達の遅れや障がいのある児童とその家族への支援のため、「育ちと学びの応援フェア・カラフル」の活用を定着を図りながら関係機関との連携協力により適切な発達支援や相談支援に努めてまいります。

児童虐待につきましましては、早期発見・早期対応に努め、児童相談所をはじめ関係機関との連携を図りながら児童が健全に養育されるよう支援してまいります。

老朽化等により移転改築が望まれていた「国の子保育園」は、栄町の町有地に移転

が決まり改築事業が進められておりますが、引き続き保育園の整備に支援してまいります。

熊石地域の保育園につきましては「事務事業の見直し方針」に基づき、引き続き保護者や地域の皆様と協議してまいります。

八雲地域の学童保育所は、従来の父母等による運営委員会方式から公募により選定した事業者の運営へと移行することから、町として支援してまいります。

### (4) 障がい者（児）福祉の充実

障がい者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう障害福祉サービスや地域生活支援事業の充実に努めます。

また、障がい者の就労支援に努めるとともに、地域生活への移行と自立支援が円滑に行われるよう障害福祉サービス事業所などの関係機関と連携し積極的に推進してまいります。

地域で暮らす障がい者の相談支援の重要性が増してきており、多様なニーズに対応できるように体制の充実に努めます。

さらに、障がい者の虐待を防止し、差別や偏見がなく、きめ細かな情報提供により誰もが安心して生活できるように障がい者団体や家族会等の育成に努めてまいります。

今年度は、「第3次八雲町障害者計画」および「第4期八雲町障害福祉計画」に基づいて、地域住民や関係機関、障害福祉サービス事業所、行政が連携し、障害の有無にかかわらず「人として豊かに共に生きるまち」《共生のまちづくり》を推進してまいります。

### (5) 地域福祉活動の推進

高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう各町内会や民生委員協議会等関係団体と連携しながら、それぞれの活動を通して声掛けや見守り活動が推進されるよう支援してまいります。また、社会福祉協議会との連携によりボランティア団体の活動支援や地域ボランティアの育成、人材確保への支援に努めてまいります。

熊石地域の地域福祉活動等の拠点施設として昨年度開館した「ふれあい交流センターくまいし館」の利用促進に努めてまいります。